

新ブランド「FURERUMO」サイト



<http://www.kawamoto-sangyo.co.jp>

<http://furerumo.jp>



# 第84期中間報告書

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで

P.1 ..... トップメッセージ  
 P.3 ..... セグメント別事業概況  
 P.5 ..... トピックス  
 P.7 ..... 中間財務諸表  
 P.9 ..... 会社概要  
 P.10 ..... 株式情報

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日  
 剰余金の配当基準日 3月31日  
 (中間配当を行う場合は9月30日)  
 定時株主総会 毎年6月下旬  
 単元株式数 100株  
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 みずほ信託銀行株式会社  
 上場取引所 株式会社東京証券取引所 市場第二部  
 証券コード 3604

<郵便物送付先・お問い合わせ先>

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほ証券株式会社 本店および全国各支店
----- 未払配当金のみ、みずほ銀行 全国本支店でもお取扱いいたします。		
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満株式の買取り以外の株式売買はできません。 (特別口座に記録したままでは、株式を証券取引所で売買することはできません。)

公告方法 電子公告 (<http://www.kawamoto-sangyo.co.jp>)  
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

### 支払通知書に関してご留意いただきたい事項

「支払通知書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成するものであり、株主さまが確定申告を行う際に必要となる場合があります。  
 当社がお支払いする配当金については、株主さまにお送りしております「配当金計算書」を「支払通知書」としてご利用いただくことができます。(但し、株式数比例配分方式を選択された場合については、お取扱いが異なりますので、お取引の証券会社にお問い合わせください。ご不明な点については、みずほ信託銀行株式会社 証券代行部にお問い合わせください。

## 川本産業株式会社

〒540-0022 大阪市中央区糸屋町二丁目4番1号 TEL.06-6943-8951



この報告書は、環境に配慮し、  
植物油インクを使用しています。



## 川本産業株式会社

証券コード 3604



代表取締役社長  
**川本 武**

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のことと拝察申し上げます。平素は格別のご支援ご愛顧を賜わり厚くお礼申し上げます。さて当社第84期中間期（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）を終了いたしましたので、事業の概況並びに主要事項をご報告申し上げます。

### Q 当中間期における業績は いかがでしたでしょうか

**A** 厳しい環境の中、高付加価値製品の販売強化に努めましたが、円安進行により輸入品の仕入コストが増加し、増収減益となりました。

当中間期におけるわが国経済は、政府による経済政策に対する期待感と金融緩和策により円安・株高が進み、輸出企業を中心に企業収益に改善が見られ全体として明るい兆しが現れております。一方で、消費税増税の決定や円安による輸入品価格の上昇など依然として先行きの不透明感は払拭されておられません。当医療衛生材料業界におきましても、引き続き厳しい経営環境が継続しております。

このような状況下で当社は重点販売品目を中心に積極的な販売拡大を推進してまいりました。これらの結果、売上高は152億91百万円（前年同期比2.2%増加）となりました。

しかし利益面では、高付加価値製品の販売強化に努めたものの前中間期と比して大幅な円安となった事から輸入品の仕入コストが増加し、売上総利益率は前中間期に対して0.7ポイント低下し、売上総利益は28億71百万円（同1.8%減少）となりました。

経費面では、全般的な支出の節減に努めましたが、売上高増加に伴う運賃関連経費の増加もあり販売費及び一般管理費は27億44百万円（同3.6%増加）となりました。

これらの結果、営業利益は1億26百万円（同53.9%減

少）となりました。

営業外収益では、当中間期末の為替相場が前期末に対して円安となったこと及び過年度に評価損を認識した為替予約を実行し、為替予約残高が減少したため、「デリバティブ評価益」（為替予約評価益）が26百万円（同106.9%増加）発生いたしました。

営業外費用では、「支払利息」及び「債権売却損」の総額削減を目的として債権の割引減少に努めた結果、合計額は33百万円（同18.6%減少）となりました。また、当中間期の為替相場が前中間期に比して円安で推移したことにより、為替差損は前中間期の49百万円に対して16百万円と減少いたしました。

これらの結果、経常利益は1億35百万円（同42.4%減少）、中間純利益は71百万円（同46.9%減少）となりました。

### Q 下期の重点施策と 通期の展望をお話ください

**A** 自社製品の開発促進と販売拡大などの重点施策を着実に実施してまいります。

今後も厳しい環境は当面継続すると見込まれるなか、当社は、重点施策である「自社製品の開発促進と販売との連携」、「販売業務の効率化」、「海外向け販売拡充の体制構築」に注力するとともに、全社をあげて効率的な経費支出を推進し、一層の利益面の向上策を進めて、安定した収益の確保につなげてまいります。

通期業績予想につきましては、売上高306億50百万円（前期比2.3%増）、営業利益2億32百万円（同46.4%減）、経常利益2億円（同58.3%減）、当期純利益1億18百万円（同55.2%減）を予想しております。

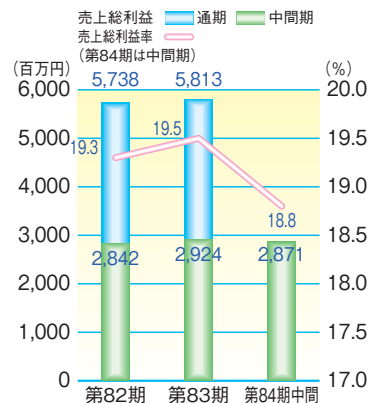
株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

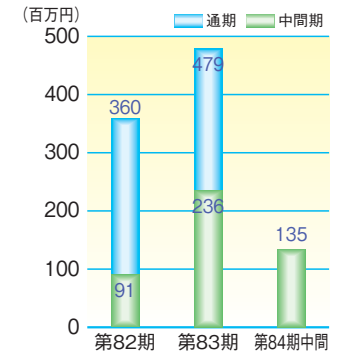
## ■売上高



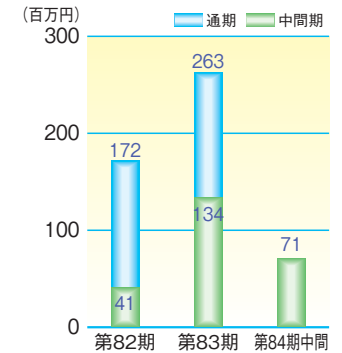
## ■売上総利益・売上総利益率



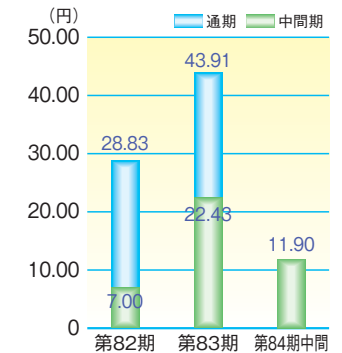
## ■経常利益



## ■中間(当期)純利益



## ■1株当たり中間(当期)純利益



国内向け



「感染予防関連製品」

重点販売製品を中心に売上高が増加いたしました

製品では、衛生材料において低収益製品の販売見直しを継続的に行ったことで減少いたしました。医療用品では重点販売製品の販売を一層強化したことで、マスク・ガウン・医療用使い捨て手袋などの「感染予防関連製品」、手術・処置・検査用の衛生材料・医療用品を組み合わせた滅菌製品「セットパック製品」及び個包装消毒綿「ステリコット®α」が増加し、介護用品では「口腔ケア用品」が継続して増加しております。一方アパレル製品では、市場規模の縮小が続く「ねまき」は減少しましたが、和テイストブームによって「てぬぐい」関連製品は増加いたしました。

商品では、医療用品は一部の収益性の低い商品の販売を抑えたことでやや減少しましたが、育児用品は販売体制の連携を強化したこともあって大手量販店向け販売が好調に推移しました。

これらの結果、売上高は147億97百万円（前年同期比2.3%増加）となりました。



「セットパック製品」



「口腔ケア用品」

海外向け

輸出を取り巻く厳しい環境の影響を受けて、売上高は減少いたしました。

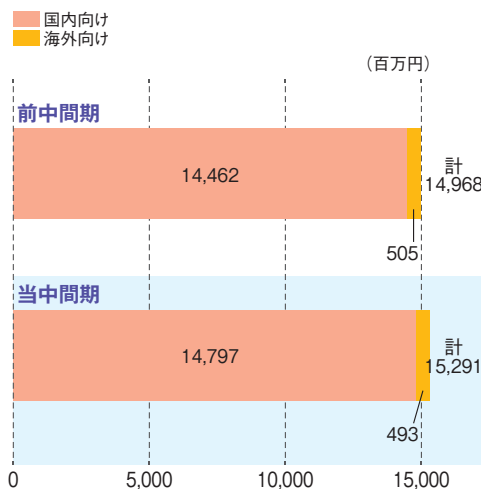
国内製の高付加価値の衛生材料や医療用製品に海外からの調達品を加えた製品群を、幅広い市場に対して積極的に販売いたしました。一部地域で新規取引を開始したものの、主力の中近東市場における売上は、医療機器輸入制度改正の影響で依然として低調に推移し、売上高は4億93百万円（同2.4%減少）となりました。

またドイツで開催の世界最大級の国際医療機器展示会「MEDICA」へは継続的に出展しており、高付加価値製品の医療機器・衛生材料の輸出推進と海外の業界関連情報の収集強化をはかっております。



海外向け衛生材料製品  
「滅菌ベンシーツ®」「エンドラクター®」

■セグメント別売上高



「第45回 MEDICA2013」  
川本産業ブース

## 手指消毒剤「ステア® ジェル(リフレッシュアロマ)新発売!

平成25年11月1日、手指衛生順守率の向上のために、新たに天然アロマオイルを配合した、アロマが香る手指消毒剤「ステア® ジェル(リフレッシュアロマ)」が発売されました。

### 特長

- ・アロマを楽しむ手指衛生
- ・天然アロマオイル配合
- ・べとつきにくい
- ・手にやさしい
- ・優れた消毒効果

指定医薬部外品

販売名:ステアジェルa  
承認番号:22500DZX00203000



## 学会併設セミナー(スイーツセミナー)開催

平成25年8月24日仙台で開催された「第5回J感染制御ネットワークフォーラム」において、スイーツセミナーを開催し、併設展示にも出展いたしました。当社製品「ステア® ジェル」の有用性と手指衛生の重要性についての講演は、この分野において最大のPRとなりました。

テーマ:「手指衛生をいかに行うか!?!」

司会:聖マリアンナ医科大学病院 感染制御部 部長 竹村先生

演者:NPO法人日本感染管理支援協会 理事長 土井先生

演者:順天堂大学医学部附属順天堂医院 感染対策室 教授 堀先生



土井先生 竹村先生 堀先生



ICN(感染管理認定看護師)の方々にたくさんお越し頂きました。

## 脳神経外科用シート「ベンシーツ® XR」演題発表!

平成25年4月12日から13日に長野で開催された「第22回脳神経外科手術と機器学会(CNTT2013)」において、「ベンシーツ® XR」の演題発表が行われ、併設展示に出展いたしました。

テーマ:「脳外科手術用のレントゲン非透過性厚手綿片の開発」

座長:香川大学医学部脳神経外科 田宮先生

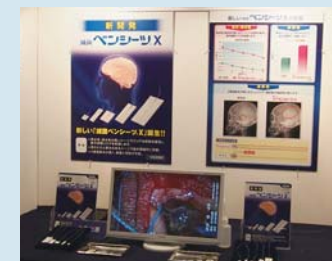
演者:大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科 木下先生

一般医療機器

販売名:ベンシーツX  
承認番号:22500DZX00203000



中央 木下先生



併設展示

## 「GGアブソーテック®」が「グッドデザイン賞」受賞!

内視鏡外科用ガーゼ「GGアブソーテック®」が10月1日、「グッドデザインアワード2013」にて、「グッドデザイン賞」を受賞し、更に高い評価を得た商品に与えられる「グッドデザイン・ベスト100」にも選出されました。

10月30日から11月4日に開催された「グッドデザインエキシビジョン」にて本製品が展示され、受賞式及び受賞プレゼンテーションに参加しました。



受賞式



受賞プレゼンテーション



【中間貸借対照表

(単位:千円)

	前中間期 (平成24年9月30日現在)	当中間期 (平成25年9月30日現在)	前 期 (平成25年3月31日現在)
① 流動資産	13,882,271	14,142,317	13,900,845
② 固定資産	4,836,220	4,834,523	4,857,403
有形固定資産	3,659,756	3,534,407	3,584,997
無形固定資産	49,332	49,825	51,101
投資その他の資産	1,127,131	1,250,289	1,221,303
資産合計	18,718,491	18,976,840	18,758,248
③ 流動負債	9,561,903	8,480,911	9,492,560
④ 固定負債	4,425,186	5,522,076	4,345,980
負債合計	13,987,090	14,002,988	13,838,541
株主資本	4,653,131	4,769,260	4,739,876
資本金	883,000	883,000	883,000
資本剰余金	1,192,597	1,192,597	1,192,597
資本準備金	1,192,597	1,192,597	1,192,597
利益剰余金	2,581,201	2,697,329	2,667,945
利益準備金	86,100	86,100	86,100
その他利益剰余金	2,495,101	2,611,229	2,581,845
配当引当積立金	5,000	5,000	5,000
別途積立金	1,000,000	1,000,000	1,000,000
繰越利益剰余金	1,490,101	1,606,229	1,576,845
自己株式	△ 3,666	△ 3,666	△ 3,666
評価・換算差額等	78,270	204,592	179,830
その他有価証券評価差額金	78,270	204,592	179,830
純資産合計	4,731,401	4,973,852	4,919,707
負債及び純資産合計	18,718,491	18,976,840	18,758,248

① 流動資産

当中間期の流動資産は前期末に対して2億41百万円増加いたしました。

「現金及び預金」が1億31百万円減少、「受取手形」・「売掛金」が2億11百万円減少、「未収入金」が5億83百万円増加したことが主な要因です。

③ 流動負債

当中間期の流動負債は前期末に対して10億11百万円減少いたしました。

「支払手形」・「買掛金」が3億88百万円減少、「短期借入金」・「1年内返済予定の長期借入金」が4億62百万円減少、「未払法人税等」が69百万円減少したことが主な要因です。

② 固定資産

当中間期の固定資産は前期末に対して22百万円減少いたしました。

有形固定資産で、「建物」が40百万円減少、投資その他の資産で、「投資有価証券」が44百万円増加、「長期貸付金」が50百万円減少したことが主な要因です。

④ 固定負債

当中間期の固定負債は前期末に対して11億76百万円増加いたしました。

「長期借入金」が11億36百万円増加したことが主な要因です。

【中間損益計算書

(単位:千円)

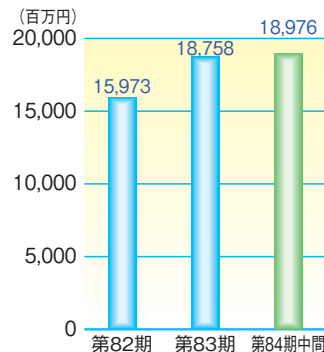
	前中間期 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	当中間期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	前 期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
売上高	14,968,378	15,291,161	29,962,648
売上原価	12,043,753	12,419,805	24,148,922
売上総利益	2,924,625	2,871,356	5,813,726
販売費及び一般管理費	2,650,456	2,744,862	5,381,088
営業利益	274,168	126,493	432,638
営業外収益	55,495	64,576	227,519
営業外費用	93,599	55,126	181,052
経常利益	236,064	135,943	479,105
特別利益	—	—	57
特別損失	1,300	—	11,499
税引前中間(当期)純利益	234,764	135,943	467,663
法人税、住民税及び事業税	96,765	76,306	215,450
法人税等調整額	3,566	△11,689	△10,905
中間(当期)純利益	134,431	71,326	263,118

【中間キャッシュ・フロー計算書

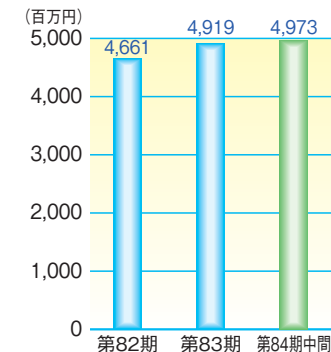
(単位:千円)

	前中間期 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	当中間期 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	前 期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,989,826	△ 721,586	△ 3,006,195
投資活動によるキャッシュ・フロー	89,165	△ 17,413	374,315
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,730,232	604,174	2,378,668
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2,781	3,778	10,306
現金及び現金同等物の増減額	△ 173,210	△ 131,046	△ 242,905
現金及び現金同等物の期首残高	1,447,791	1,204,886	1,447,791
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	1,274,581	1,073,839	1,204,886

【総資産



【純資産



会社概要 (平成25年9月30日現在)

社名 川本産業株式会社  
 設立 昭和6年1月  
 資本金 883,000,000円  
 従業員数 570名 (内、契約雇用者数89名)

役員

代表取締役社長 川本 武雄  
 ※代表取締役専務 佐々木 功年  
 ※取締役 安岡 藤雄  
 ※取締役相談役 向井 茂史  
 常勤監査役 川本 新史  
 常勤監査役 横田 茂清  
 監査役 日浦 俊彦  
 監査役 親泊 伸明

(注) 監査役日上俊彦、親泊伸明両氏は社外監査役であります。  
 ※印の取締役は執行役員を兼務しております。

執行役員

執行役員 大谷 純生  
 執行役員 水 上 博

事業所

本社 〒540-0022  
 大阪市中央区糸屋町2-4-1  
 TEL.06-6943-8951

- 支店  
 ● 東京支店 東京都杉並区阿佐谷北6-1-6
- 営業所  
 ● 仙台営業所 宮城県仙台市泉区泉中央3-18-4 オフィス21泉4階  
 ● 千葉営業所 千葉県市川市大和田4-19-2  
 ● 埼玉営業所 埼玉県加須市花崎5-31-1  
 ● 日本橋営業所 東京都中央区東日本橋3-7-19 友泉東日本橋駅前ビル4階  
 ● 名古屋営業所 愛知県名古屋市中区城西3-12-12  
 ● 京都営業所 京都府京都市南区上鳥羽岩ノ本町82-1  
 ● 堺営業所 大阪府堺市堺区大浜南町2-5-8  
 ● 南大阪第1・第2営業所 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東3-14-20  
 ● 神戸営業所 兵庫県神戸市東灘区住吉南町3-3-5  
 ● 広島営業所 広島県広島市中区白島中町2-2  
 ● 福岡営業所 福岡県福岡市博多区博多駅東3-12-1 アバダント95 7階

- 出張所  
 ● 札幌出張所 北海道札幌市東区北24条東15-4-20 日弘ビル4階C号室  
 ● 横浜出張所 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央11番地3 ウェルネスセンタープラザビル2階A-2号室  
 ● 高松出張所 香川県高松市多肥下町21-1 西香ハウス1階

- 駐在所  
 ● 鹿児島駐在所 鹿児島県鹿児島市皇徳寺台3-68-1

- 工場  
 ● 大阪工場 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東3-14-20  
 ● 埼玉工場 埼玉県加須市花崎5-31-2



株式の状況

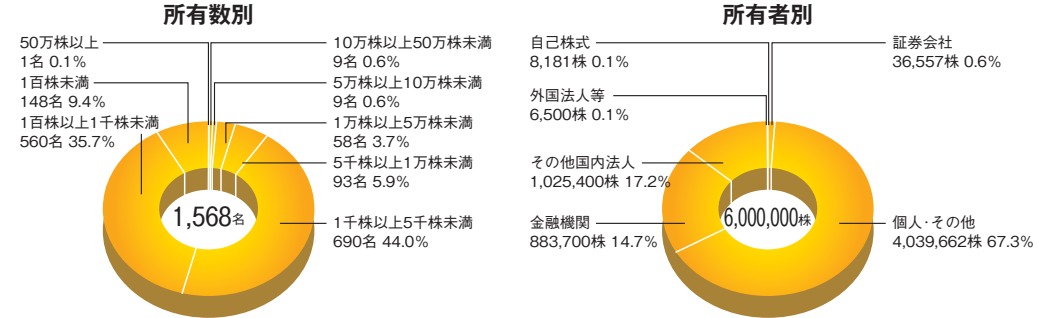
発行可能株式総数 16,000,000株  
 発行済株式の総数 6,000,000株  
 株主数 1,568名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
巴株式会社	600	10.0
川本社員持株会	423	7.1
川本 武	296	4.9
カワモト取引先持株会	283	4.7
株式会社みずほ銀行	249	4.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	249	4.2
伊藤忠商事株式会社	196	3.3
株式会社りそな銀行	175	2.9
川本 洋之助	170	2.9
第一生命保険株式会社	100	1.7

※1. 持株比率は自己株式(8,181株)を控除して計算しております。  
 ※2. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

株主分布状況



株価および売買高の推移

